



NPO法人 子育て支援グループハミングちば

—みんなでやろうよ 子育て自分育て—

2000年、男女雇用機会均等法・男女共同参画社会基本法の制定、少子高齢社会などの社会的背景の中で、家庭と仕事の両立のための環境作りが求められていました。また、子育てしながら働く勤労者にとっては、公共のサービスが足りず、自助努力で仕事と子育てに必死の思いでがんばるしかない大変厳しい環境でもありました。

その年の6月、千葉県労働者福祉協議会は、定期総会で「子育て支援」に取り組む活動方針を決定し、労福協と労働組合が中心となって「子育てサポートちば委員会」を発足、共助として、地域社会の中でともに助け合いながら、子育て支援活動が労働組合と市民の架け橋となれるよう、パイロットプランとして出発しました。

準備期間を経て2002年7月に子育て支援グループ「ハミング」が生まれ、その後2003年7月にNPO法人を取得して現在の「NPO法人 子育て支援グループハミングちば」となりました。

「ハミングが出るような明るく心にゆとりを持てる子育て」を願って「ハミング」と名称を決定し、「子育ての隙間を埋めるサポートだけでなく、子育てにかかわる心の隙間を埋める活動に努力し、子供の気持ちを受け止める、その子にあったきめ細かいサービスの

提供に努める」を活動理念としました。

活動地域は発足当初、子育て中の親が多いとの理由から、千葉市美浜区を中心としましたが、現在は千葉市中央区、稲毛区、花見川区へとお助け会員の増加とともにすこしずつ広がっています。

「ハミングちば」は、支援を希望する「お願い会員」と、支援行う「お助け会員」、双方の橋渡しをする「コーディネーター」で構成されています。

「みんなでやろうよ、子育て自分育て」をモットーに、子育て中の親の残業、出張、休日出勤時のお子さんの一時預かり、幼稚園、保育所、学校、塾、習い事等の施設までの送迎、産前産後や、親が病気になったときのお子さんの預かり、さらには冠婚葬祭、通院、美容院、カルチャースクールなどでお子さんの預かりを終日一律600円（交通費実費）の有償ボランティアで行っています。

お子さんを預かる場所はお助け会員宅、お願い会員を双方の相談により決めています（現在支援の96%がお願い会員宅）。支援時間は原則7:00～20:00となっていますが時間外支援についても双方の相談により対応を決めています。

有償ボランティアでの活動は、支援する側が責任を持ってサポートすること、お願い会

員、お助け会員が対等な関係を保ち、気持ちよく支援活動を継続することを目的としています。

「ハミングちば」の運営は、会員から月200円の会費と賛助会費（団体1口1万円・個人1口1,000円）でまかなわれています。また、連合千葉をはじめ多くの組合のご協力によりバザー用品の提供をいただきながらメーデーに出店し、売り上げを運営費にさせていただいてもあります。より良い子育て支援ができるように、お助け会員は月に一回定例会議を開催し、会員同士で情報交換したり、活動の悩みを相談したりしています。また、年に一回、芋ほり&バーベキュー大会を開催して欲しい会員を含めた会員間の交流も深めています。

今年9年目を迎えますが、2002年10月に援助スタートしてから活動支援件数3,274件、活動時間6,958.5時間というたくさんの支援活動につながってきましたが、まだまだ子育てで困っている家族が多く、お願い会員からの依頼に対し、十分に答えられていないのが現状です。さらに多くの依頼に応えられるよう、お助け会員の人数をもっと増やすことが課題です。今後も広報、PR活動を続けていきたいと思っています。

ハミングとしての将来の夢は、子育てに対する公共のサービスが充実して、最終的にはハミングちばが発展的解散ができる時代が来ることを望んでいます。



運営委員会の光景